

★児童・保護者アンケートより



kazarakko.

あいさつは本校教育目標でもある「人と豊かにかかわる」ために大切なことであり、お互いが気持ちよくすごすために必要なものです。どの学年でも「あまりできない」と考えている児童がいます。学校、地域、家庭の中でいろいろな人とかわる子どもたち。まずは、大人から気軽にあいさつできる雰囲気を作っていきたいと思います。

★よりよい学校づくりに向けて

結果をもとに、学校での取組がどのようにつながったかを、分析し来年度の教育活動を考えました。

学校教育目標

『人と豊かにかかわり 進んでまなび
ふかめ合う桂坂の子』



教職員同士の学び合い

「豊かにかかわり」「進んでまなび」「ふかめ合う」「活用」という4つの視点で教職員研修を進めてきました。桂坂の子どもたちに合う授業づくりを教職員全体で考えています。



学ぶためのツール

新たな学びのツールとしてどの学年でも GIGA 端末を活用をしています。学ぶためだけでなく、学んだことを「発信する」ためのツールとしても活用できるようにしていきます。また、学級閉鎖時には持ち帰りを行い、家庭での学習使用も試みています。



「人からまなぶ」

総合的な学習の時間や外国語科の学習では、地域のコミュニティティーチャーに自分たちがこれまで学習してきたことを伝えたり、アドバイスをもらったりしています。感染症対策で対面でできない時期もZoomを活用しながら、「人からまなぶ」ことを意識してきました。また、「日文研出前授業」「非行防止教室」「モノづくり学習」等、外部講師の方にもたくさん教えていただきました。



本とお話しの会

今年度も、本とお話しのクラブのみなさんにお世話になり、各学年ごとに読み聞かせをしていただきました。目で見て耳で聞くことで、より内容がわかり、本の世界を楽しむことができました。



基礎的な学力

学習への意欲

人間関係力

★2月28日（月）第3回学校運営協議会より

学校評価「保護者・児童アンケート」の結果を受けて、学校運営協議会で話し合いを行いました。

まなびの定着、GIGA 端末の利用について

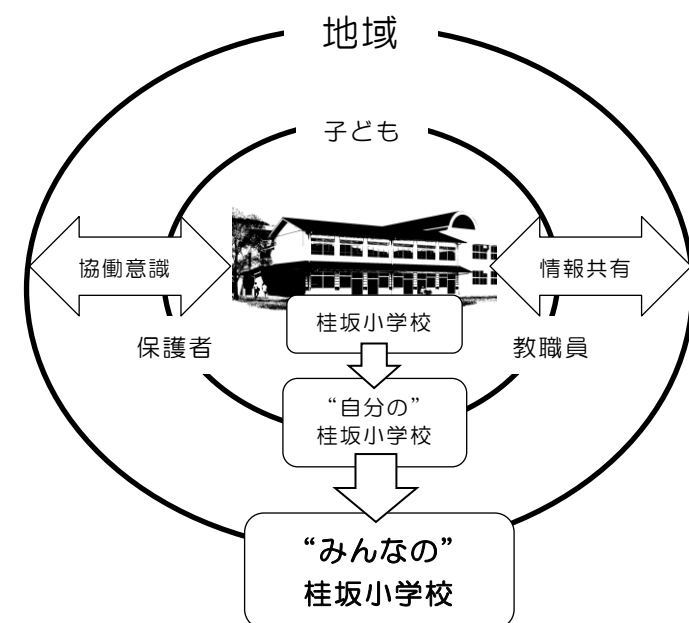
感染症関連で学校を休むときに、GIGA 端末を使用したことは子どもたちのまなびの保障や安心感につながったと感じる。しかし、ネットワーク環境の整備やネットとの付き合い方・判断力・危険性の理解等、情報モラルの問題も多く残されているので、家庭での支援が必要となってくる。まなびをより深めるため、また安全な活用にむけて、使用のガイドラインを地域と家庭と連携して作成していきたい。

人間関係力、安全について

児童のアンケートの結果は概ねよい。しかし、「家の人に学校の話をしているか」という質問で、「できていない」と答えている児童が数パーセントいる。仕事で子どもと多く関われない家庭もあるだろうが、子どもの SOS にすぐに気付けるようにしておくことが重要であり、見抜く力が大人に求められている。このような子どもの受け皿を、地域共同体でつくることもしていきたい。子どもたちを正しい方へ導くのも大人である。交通安全についても大人が意識し、子どもたちの手本となるようにしなければならない。

学習への意欲、授業・行事について

まん延防止措置等で教育活動が制限され、特に音楽や体育などの実技教科が十分に実施できなかったことが残念だ。歌声を合わせたり、心を合わせたりすることはとても大切な経験である。しかし、制限があるからこそ、できとなったときには喜びを感じながら集中して取り組むだろう。新型コロナウイルスの感染拡大状況には波があるので、時期を変更して実施するなど、年間計画も柔軟に見直ししながら進めていくのがよい。



今回いただきました貴重なご意見を受けまして、すべての子どもが安心でき、学ぶこと、友達とかかわることを楽しいと思える学校の実現を目指して、次年度も教育活動に取り組んでいきたいと思っております。保護者や地域の皆様にもご理解とご協力をいただきますように、どうぞよろしくお願いいたします。